

対象学年: 第2学年以上

領域・単元等 「連立方程式」

## 1. 作成の趣旨

数量の関係を捉えて、ある特定の量に着目して立式することや捉えた数量を表や線分図などで表してその関係を明らかにすること、着目する数量によって様々な方程式が立てられることに気付くことなど、**連立二元一次方程式を見通しをもって的確に活用すること**をねらいとして本問題を作成しました。

【関連する学習指導要領の内容】

○数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。〔1年A(2)知識・技能Ⅰ〕

○連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること。〔2年A(2)思考・判断・表現Ⅰ〕

## 2. 活用場面等(例)

例1【学期末、学年末の定着確認の問題として】

〈啓林館、東京書籍、大日本図書 7月、9月、3月頃〉

⇒活用後について

定着が不十分な場合は、生徒の誤答やつまずきを確認する等、生徒の実態を丁寧に見取った上で、類似の問題に取り組む機会を設けましょう。

例2【単元末の定着確認の問題として】

〈啓林館、東京書籍、大日本図書 6月頃〉

⇒活用後について

定着が不十分な場合は、立式した方程式の意味や数量の関係を読み取ることができているかどうかを確認する問題や、文章題から方程式を立式する問題に取り組む機会を設けましょう。

## 3. 連立方程式の利用の授業の充実に向けて

○計算や立式ができていても、授業の中で適宜、式の意味や立式する際に着目した数量の関係等を確認しましょう。

○立式が難しい生徒には、問題文中の数量の関係を表す部分に線を引いたり、その数量の関係を表に整理したりすることで、立式につながる数量の関係を捉える活動を取り入れる等して支援しましょう。

なるほど。2人ともなぜその数量を文字で表そうと考えたのですか？



僕はかずやさんが歩いた道のりを $x$ 、自転車で進んだ道のりを $y$ とにおいて連立方程式を考えたいよ。



私はかずやさんが歩いた時間を $x$ 、自転車で進んだ時間を $y$ とにおいて連立方程式を考えました。

○必要に応じて、1年生の「文字を用いた式」での学習内容も振り返りながら、立式や計算の指導をしましょう。